

『EU 廃電子・電気機器指令案』 欧州議会を通過

Directive on West electrical and electronic Equipment

2002,4,24

3 年 18 組 清水顕子

◇ Editorial comment: Euro trash (April 10 2002) の要訳

廃電子・電気機器のリサイクルに製造業者が責任を持つことを定めた指令案が、欧州議会を通過した。現在全世帯の廃棄物のうちの 4%を占めている廃電子・電気機器の割合が急速に伸びつつあり、伴って廃電子・電気機器に含まれる重金属や有機汚染物質の廃棄量も増えていることが背景にある。

この指令案は、2 年前に採択された廃自動車に対する法案同様、“汚染者支払い”(polluter pays) を取り入れている。“汚染者支払い”に則って消費者に廃棄への支払いを負わすことで、電気製品の廃棄に歯止めがかかると同時に国の処理費用の削減にもなる。

英国の田舎町に、放棄された冷蔵庫が散乱しているという現状があるが、指令案では地方自治体が回収したものに対しても、リサイクルの責任を負うのは製造業者であると、責任の所在を明示している。

最終的に製品の一部に処理費用を組み込んだことは、製造業者が、より安くリサイクルできる製品の設計に取り組む誘因となった。また、製造業者が個別に各々の製品に責任を負うことで、販売促進革新と環境基準下での料金値下げをはかることになる。

リサイクル設備がまだ存在していない場合の共同融資は一時的には必要だろう。しかし、各々の製造業者が責任を負う規定が全ヨーロッパで確立されることが、ただひとつの廃棄物取引に対する解決策である。

◇ EU 廃電子・電気機器指令 (WEEE 指令) について

Directive on West Electrical and Electronic Equipment

最終目的：人体の健康と環境を守ること。

土壌・水・空気を WEEE によってもたらされる汚染から守ること。

The proposed Directive on West Electrical and Electronic Equipment will contribute to the protection of human health and the environment ... The principal objectives of this Proposal are to protect soil, water and air from pollution caused by current management of WEEE...*

概要：廃電子・電気機器のリサイクル・リユースの全責任を製造業者に義務付けるもの。

Producers should take the responsibility for certain phases of waste management of their products.*

政策のねらい：電子・電気機器廃棄物の発生回避、再生利用、リサイクルおよびその他の形態の有効利用を促進することで処分廃棄物を減量化すること。

→ 製造事業者が各々の製品に責任を持つことによって達成される。
よりリサイクルしやすい製品設計も行われるようになる。

◇指令案決定における論点

- ・有害物質（水銀・鉛・カドミウム）の使用制限について
→「特定危険物質使用制限指令」として切り離し、別の案件とした。
- ・回収費用の負担
→“排出者負担主義”を採用、消費者が支払う。
- ・既に市場に出回っている製品の扱い
→事業者間の負担の分配が明らかになるような課金システムによって共同出資する。
また、製造事業者がなくなってしまった製品については、現存の製造者が責任を負う必要はない。

◇参考文献・サイト

ドイツ中央電子・電気工業会 中曽利雄訳「海外リポート『EU 廃電子・電気機器指令』
『月刊廃棄物』 日報 2001 年 12 月号 P.68～P.73

田中勝監修（財）産業廃棄物処理事業振興財団企画・編集

『日米欧の産業廃棄物処理』（1996,12,1）

学びと環境のひろば <http://www.kcn.ne.jp/~gauss/wen2/weee.html/>

EU における廃棄物の処理についてのサイトがまとめられているページ

<http://www2u.biglobe.ne.jp/~standard/faq/faq623.htm#08>

* 英文引用 http://europa.eu.int/eur-lex/en/com/pdf/2000/en_500PC0347_02.pdf

EU のホームページ <http://europa.eu.int/>

環境 goo ビジネスメール（本来は有料サイト。偶然見本に掲載されていた。）

http://eco.goo.ne.jp/eco_news/files/mihon.html